

総務

※各常任委員会の所管部署
政策秘書室・総務部・財務部・会計課・行政委員会事務局等

施設設備の大規模修繕は適切に

【一般会計予算】
財産管理費では、施設設備管理台帳作成の業務内容について質疑を交わし、既存設備の位置図や平面図、改修の履歴、劣化調査の報告書等をデータベース化することによって、将来かかるであろう大規模修繕等を事前に把握し、どの時期に、どのように財源投下していくかなど、公共施設の設備を統括的に維持管理

していききたいとの説明がありました。

企画費では、(仮称)戸田公園駅前行政センター建設に係る説明に対し、ターゲットは駅利用者であり、駅からの動線や利便性等を考慮すると、当センターと戸田公園駅をペDESTリアンデッキで結び、そこをメインの窓口とし、夜遅くに利用できる開設時間のほうが喜ばれること。また、1階をテナント貸しして、1年間のランニングコストに充てるべきではないかとの意見がありました。



▲戸田公園駅前に行政センターがきます。1年間のランニングコストに充てるべきではないかとの意見がありました。

が出され、20年度実績で50件実施し、当初の見積金額の総額が約10億4100万円に対し、精査の結果、約9億7300万円、約6800万円の

文教・建設

都市整備部
教育委員会

バリアフリー化で利用者安心の公園を

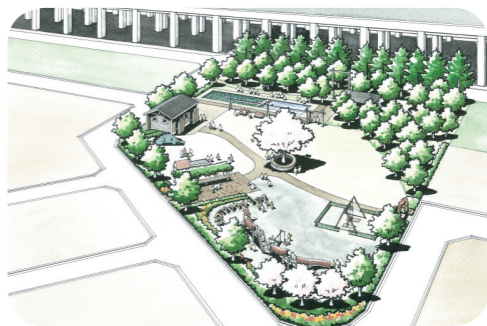
【一般会計予算】

土木費・河川総務費のさくら川護岸整備工事では、本市とさいたま市の負担割合等で質疑を交わし、工事の早期完了に向けて、引き続きさいたま市と積極的に交渉するよう意見がありました。

公園費の公園施設整備

事業では、公園利用が多い子供や高齢者が安心して過ごせるよう、トイレ等の公園施設のバリアフリー化を早急に進めてほしいとの意見があり、可能な限り対応していききたいとの答弁がありました。

経費を削減できた。また、業者や職員への意識づけも図られ、精査金額以上に効果があったと考えるとの説明がありました。



▲完成が待ち遠しい(仮称)里山公園

また、環境空間整備事業では、(仮称)里山公園について、市民参加による公園作りは素晴らしいが、公園内の雑木林で、公園とJR高架との間の道路に死角が生じることがないよう、防犯面にも配慮してほしいとの意見がありました。

教育費・学校管理費では、中学校の柔道部創設を希望する市民の声を多く耳にするため、外部指導者を活用するなどして、創設を検討してほしいとの意見がありました。これに対し、創設を

支援したいが、現状では顧問の問題があり、本市だけでは判断できないため、県全体の流れを十分に見ながら検討したいとの答弁がありました。

図書館費では、大型絵本について、読み聞かせサークルで頑張っている市民も多いため、貸し出しはできないかとの意見があり、検討していききたいとの答弁がありました。

委員会の審査から

こんな質問、あんな意見もありました

- 総務常任委員会
- 文教・建設常任委員会
- 健康福祉常任委員会
- 市民生活常任委員会

健康福祉

子育て世帯への支援… 早期の実施を要望

【児童育成手当条例・乳幼児医療費の支給に関する条例の一部改正】

父子家庭の父に対し、児童扶養手当に準ずる経済的支援を平成22年4月1日から、乳幼児医療費支給の年齢拡大が平成22年1月1日からスタートするためのものであり、早期実現に向けて、できるだけ努力してほしいと要望しました。

乳幼児医療費の支給に関する条例については、中学生の通院も医療費支給の対象とする修正案が出されましたが、償還払いは医療機関との事務処理上の問題があること、本市は子育て世代が多く、財源確保が難しいこと、受益者負担の原則も考えた上での選



▲子育てしやすい環境の整備にも努めています

福祉部・子ども青少年部
福祉事務所
医療保健センター

択であるとの意見があり、修正案は否決され、原案のとおり可決されました。

【一般会計予算】

民生費の高齢者福祉費では、健康長寿入浴事業の浴場の偏在による利用格差、不公平感を解消するために、地域に合ったサービスを選択できる施策を検討してほしいとの要望がありました。

市民生活

市民生活部
消防本部
水道部

白田の湯… 市民利用者を増やす方策を

【一般会計予算】

支所及び出張所費では、美笹支所と西部福祉センターの駐車場が一緒であり、講座によつては、支所への来客者が駐車できない場合がある。方策を検討してもらいたいとの要望がありました。

行政振興費では、地域通貨について検証してはどうか、また、換金性をもっと啓発していく必要があるとの意見、さらに、例えばコミュニティバスに使う等、市の中で使える場面の検討を求める意見がありました。

文化会館の屋上防水改修及び庭園緑化整備工

衛生費の保健衛生総務費、及び予防費では、新型インフルエンザ対策として、戸田市新型インフ

ルエンザ対策行動計画の早期改定、新たに市民向けマニュアルの作成、職員研修の実施、あわせて、

事では、現状の屋上庭園は使い勝手が悪い、貸し出しも含めて、多様なことに使えるように整備してもらいたいとの要望がありました。



▲利用者はふえている白田の湯

市民保養所費では、保養所利用者が増加したにもかかわらず、市民利用者は減少していることについて、市としては、保養所に来ることに加価値をつけるなど、市民の利用者をふやす方法を考えていくべきであるとの意見、また、現在の指定管理者が他に受託している施設のうち、二カ所を戸田市民が白田の保養所と同条件で泊まれるよう

に検討してもらいたいとの意見が出されました。市民農園については、新曽区画整理が完成すると、減ってしまうと思われる。笹目橋の南側の土地、あるいは荒川水循環センターの上部利用についても検討してもらいたいとの要望がありました。

委員会ごとにテーマを追求!

委員会は、議案や請願の審査のほかに、所管の範囲で調査事件を定め、能動的に市政に関する調査活動を行うことができます。ことしは、常任委員会ごとに具体的な年間の活動テーマを左記のとおり決めました。そして、毎月1回委員会を開催し、今までの以上に掘り下げて、行政に対し意見・政策提案をしていきます。

どうぞ、委員会の活動に熱い視線をお寄せください。

委員会	年間テーマと活動内容
総務	1. 自治基本条例について 2. 新地方公会計制度について 3. 行政IT化による効率性と経済性について
文教・建設	1. 所管する小・中学校などの施設や区画整理事業などの現地視察
健康福祉	1. 医療保健福祉計画……福祉の杜建設計画及び医療保健センター等建て替え計画
市民生活	1. 低炭素社会と市民生活 2. 危険箇所総点検運動